

地理歴史・公民 (2023)

(世界史)

- (注意事項)
- 1 問題文は19ページあります。
 - 2 解答は解答用紙の所定欄に記入してください。下書きは、問題冊子の余白を利用してください。ただし、回収はしませんので採点の対象とはなりません。
 - 3 解答はすべてマークセンス方式となっていますので、解答用紙の注意事項をよく読み解答してください。
 - 4 受験番号・氏名・フリガナは、監督者の指示に従って、解答用紙の所定欄に丁寧に記入してください。
 - 5 解答用紙にマークセンス方式の受験番号欄があります。受験番号をマークする際は濃く丁寧にぬってください。
 - 6 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページ落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

I 次のA, Bの文章を読み, それに続く問1~10に答えよ。

A メソポタミア北部のアッシリアは, 商業と農牧業を背景に, 前9世紀ごろから鉄製の武器や馬と戦車などを用いて強力になった。前8世紀には新たに (a) を首都とし, 前7世紀前半にはメソポタミア, さらにはエジプトを征服して, オリエント初の統一帝国をつくりあげた。その後, オリエントには4つの王国が分立した。オリエントを再統一したのは, インド=ヨーロッパ系ペルシア (イラン) 人のたてたアケメネス朝ペルシアであった。前4世紀には, アレクサンドロス大王がアケメネス朝ペルシアを滅ぼして, オリエントを含む広大な大帝国をきづいた。アレクサンドロス大王の東方遠征からプトレマイオス朝の滅亡までの約300年間はヘレニズム時代とよばれる。この間, 前3世紀にイラン系遊牧民のアルサケスがたてたパルティアは, 漢とローマを結ぶ通商路をおさえて繁栄した。その後パルティアはローマとの激しい抗争によって衰え, 224年ベルセポリス付近からおこったササン朝ペルシアの (b) によって滅ぼされた。

B 6世紀後半になると, ササン朝ペルシアがビザンツ帝国との戦いをくりかえしたために, 東西を結ぶ「オアシスの道」は両国間の国境でとだえ, ビザンツ帝国の国力低下とともに紅海貿易も衰えた。そのため東西交易の各種商品はアラビア半島を経由するようになり, メッカの大商人はこの国際的な中継貿易を独占して大きな利益を上げていた。メッカに生まれた商人ムハンマドは, 7世紀初めに唯一神アッラーの啓示を受けて預言者であると自覚し, イスラーム教をおこした。ササン朝ペルシアは次第にイスラーム勢力に押されるようになり, 642年のニハーヴァンドの戦いでアラブ軍にやぶれ, 651年に滅亡した。661年に成立したウマイヤ朝は, 史上初のムスリム世襲王朝であった。この王朝は8世紀半ばまでに東は西トルキスタンから西北インドにまで領域を広げ, 西は北アフリカ西部を攻略し, イベリア半島の西ゴート王国をほろぼした。8世紀後半以降はアッバース朝イスラーム帝国がウマイヤ朝にかわって繁栄した。その後の分裂の時期を経て, 11世紀にはトゥグリル=ベクによって (c) 朝が開かれた。

問1 Aの文中の (a) に入る都市名として正しいものを次の①~⑤のなかからひとつ選び, その番号をマークせよ。

1

- ① ニネヴェ
- ② バビロン
- ③ メンフィス
- ④ スサ
- ⑤ ペルセポリス

問2 Aの下線部(1)に関して、この4つに含まれない王国を次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

2

- ① バクトリア
- ② エジプト
- ③ リディア
- ④ メディア
- ⑤ 新バビロニア (カルデア)

問3 Aの下線部(2)に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

3

- ① この王朝をおこしたのはダレイオス1世であり、キュロス2世のとき最大の版図となった。
- ② この王朝ではキリスト教の一派であるゾロアスター教が広く信仰された。
- ③ この王朝は全領土を約20の州に分け、各州に知事(サトラップ)をおき、中央集権化をはかった。
- ④ この王朝はマラトンの戦いでスパルタに勝利した。

問4 Aの下線部(3)に関連する次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

4

- ① エジプトのアレクサンドリアに王立研究所(ムセイオン)が設けられ、多くの著名な学者が研究活動に従事した。
- ② 「ミロのヴィーナス」や「ラオコーン」に代表されるヘレニズム美術は、ガンダーラ美術に大きな影響を与えた。
- ③ この時代にはギリシア風の都市が各地に建設され、多くのギリシア人が移住するとともに、共通語としてギリシア語(コイネー)が普及した。
- ④ この時代には、とくに自然科学が発達し、平面幾何学を大成したアルキメデス、浮体の原理を発見したエウクレイデスらが活躍した。

問5 Aの文中の(b)に入る人名として正しいものを次の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

5

- ① シャープール1世
- ② ホスロー1世
- ③ アルダシール1世
- ④ ネブカドネザル2世

問6 Bの下線部(4)に関連する次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

6

- ① 6世紀のコンスタンティヌス帝は、北アフリカのヴァンダル王国とイタリアの東ゴート王国を滅ぼした。
- ② 7世紀初頭のヘラクレイオス1世の治世において、軍管区制（テマ制）がしかれた。
- ③ ノミスマ金貨とよばれるソリドゥス金貨は、帝国によって価値を保証され、地中海圏の基軸通貨であった。
- ④ 11世紀から、国家が軍事奉仕を条件として貴族に土地管理をゆだねるプロノイア制が導入された。

問7 Bの下線部(5)に関連して、ムハンマドはメッカの有力者らに迫害を受けたため、ムスリムとともにヒジュラ（聖遷）とよばれる移住をおこなったが、この移住先の都市名として正しいものを次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

7

- ① ダマスクス
- ② カイロ
- ③ バグダード
- ④ メディナ
- ⑤ イエルサレム

問8 Bの下線部(6)のウマイヤ朝の初代カリフとして正しいものを次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

8

- ① アブー=バクル
- ② マンスール
- ③ ムアーウィヤ
- ④ アリー
- ⑤ ハールーン=アッラシード

問9 Bの文中の（ c ）に入る王朝名として正しいものを次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

9

- ① サファヴィー
- ② セルジューク
- ③ ガズナ
- ④ マムルーク
- ⑤ ファーティマ

問10 Bの下線部(7)の(c)朝に関する記述として正しいものを次の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

10

- ① この王朝の首都はイスファハーンであった。
- ② シーア派を奉じたこの王朝は、主要都市に学院（マドラサ）を建てて同派の神学を奨励した。
- ③ 軍隊は、イエニチェリという歩兵常備軍とティマールを俸給として与えられた騎兵からなっていた。
- ④ トゥグリル=ベクはアッバース朝カリフからスルタン（支配者）の称号を与えられた。

II 次のA, Bの文章を読み, それに続く問1~10に答えよ。

A スカンディナヴィア半島やユトランド半島には, ゲルマン人の一派(北ゲルマン)に属するノルマン人が住んでいた。彼らの一部は8世紀後半から商業や海賊・略奪行為を目的としてヨーロッパ各地に本格的に海上遠征をおこなうようになり, その後12世紀にかけてヨーロッパ諸地域に移住し, さまざまな国をたてた。(1) (ア)を首領とするノルマン人の一派(ルーシ)は, スラヴ人地域に進出してノヴゴロド国を, ついで(イ)川流域を中心にキエフ公国をたて, 別の一派はアイスランドやグリーンランドに移住し, さらに遠く北アメリカまで到達したのもいた。ノルマン人の居住地にはデンマーク・スウェーデン・ノルウェーの諸王国がたてられ, 彼らがキリスト教化されると, ようやくノルマン人の移動も終わった。ビザンツ帝国北側に広がっていたスラヴ人の世界は, ローマ=カトリックとギリシア正教会がせめぎ合い,(2) 西欧文化とビザンツ文化とが相克する場であったが, 諸民族はそれらの影響を大なり小なり受けつつ自立と建国の道を歩んでいった。(3)

B 中世ヨーロッパにおける封建制と荘園制を基本原理とする社会は封建社会とよばれる。ただし異なった自然地理条件や歴史によって封建社会のあり方も一律ではなく, 地域によって多様な姿をあらわした。11世紀ごろから農作業を容易にする鉄製農具や水車が普及し, 重い土壌をもつアルプス以北においては, 牛馬にひかせる重量有輪犁が土地を深く耕すことを可能にした。また三圃制(三圃農法)が普及して, 全体としての生産力が高まった。一方, そのころ,(5) ヨーロッパの都市には商人や手工業者が移住して人口が増加し,(6) 交換手段としての貨幣が普及することで貨幣経済が浸透した。遠隔地商業の主な舞台は, 地中海商業圏と北ヨーロッパ商業圏であった。(7) この2つの商業圏を結ぶ内陸の通商路にも都市が発達し, とくにフランスの(ウ)地方は大規模な定期市で繁栄した。

問1 Aの下線部(1)に関して, この頃成立したノルマン系の国として正しいものを次の①~⑤のなかからひとつ選び, その番号をマークせよ。

11

- ① シチリア王国
- ② フランク王国
- ③ ブルグンド王国
- ④ ランゴバルド王国
- ⑤ 西ゴート王国

問2 Aの文中の（ア）に入る正しい人物名を次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

12

- ① ロロ
- ② リューリク
- ③ クヌート
- ④ エグバート
- ⑤ オドアケル

問3 Aの文中の（イ）に入る正しい河川名を次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

13

- ① ヴォルガ
- ② ドニエプル
- ③ ドナウ
- ④ ライン
- ⑤ エルベ

問4 Aの下線部(2)に関連して、ギリシア正教会とビザンツ文化に関連する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

14

- ① ビザンツ様式とよばれる建築は半円形アーチと重厚な石壁や小窓を特徴とする。
- ② ビザンツ帝国では7世紀に公用語がラテン語からギリシア語になった。
- ③ ビザンツ帝国ではイコン（聖像画）の制作と崇拝が一貫して禁止されていた。
- ④ ギリシア正教を継承したロシアでは、大衆の教化のためにルーン文字が考案された。

問5 Aの下線部(3)に関して、諸民族がたてた国家についての次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

15

- ① ローマ=カトリックを受容したチェック人は10世紀にベーメン（ボヘミア）王国をたてたが、王国は11世紀には神聖ローマ帝国に編入された。
- ② マジャール人は黒海北岸からドナウ川中流のパノニア平原に移動し、10世紀末にハンガリー王国を建国した。
- ③ ローマ=カトリックを受容したポーランドは10世紀頃に国家形成をとげたが、14世紀には、ポーランド女王がリトアニア大公と結婚して、ヤゲウォ朝リトアニア=ポーランド王国が成立した。
- ④ 南スラヴ系のブルガール人は7世紀にブルガリア王国を成立させ、ローマ=カトリックを受容して定着した。

問6 Bの下線部(4)に関連する次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。 16

- ① 西ヨーロッパの封建制では、主君と臣下との間に双務契約の関係が結ばれ、主君が臣下に封土を与え保護下におくかわりに、臣下は主君に忠誠を誓い、騎士としての軍務を負った。
- ② 主君と臣下の法的な関係は、ゲルマン社会の恩貸地制と、臣下が主君に保護の代償として軍事的奉仕をおこなう古代ローマの従士制が結合したものである。
- ③ 領主は荘園内において裁判権（領主裁判権）を保持し、国王などから役人の立ち入りや課税を免除される特権（不輸不入権）を獲得するようになった。
- ④ 荘園に住む農民には、自身で農地を所有し領主から独立した自由農民や、家族をもち農具や家畜などを所有しながらも不自由な身分にあった農奴がいた。

問7 Bの下線部(5)に関する次のa, bの説明の正誤の組み合わせ①～④のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。 17

- a 耕地は春耕地、夏耕地、秋耕地の3つに分けられ、それぞれ3年に一度休耕（休閒）とされた。
 - b 休耕地（休閒地）には家畜が放牧され、地力の回復がはかられた。
- ① aのみ正しい
 - ② bのみ正しい
 - ③ aもbも正しい
 - ④ aもbも誤りである

問8 Bの下線部(6)に関連して、この頃のヨーロッパの都市についての次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。 18

- ① ドイツでは、農奴が荘園から都市に逃れて1年と1日住めば自由な身分になるとされ、「都市の空気は（人を）自由にする」といわれた。
- ② 都市には奉公人や日雇い、乞食などの下層民のほか、ユダヤ人のように、宗教的観点から都市内に特別の居場所（ゲットー）を定められる集団もいた。
- ③ 北イタリアの自治都市（コムーネ）は、周辺の農村も併合して、一種の都市国家として独立した。
- ④ 同職ギルド（ツunft）の組合員になれない職人たちは、市政を担った工房の親方たちに対していわゆるツunft闘争をおこし、親方資格の獲得をめざした。

問9 Bの下線部(7)に成立したハンザ同盟によっておかれた4大在外商館の所在都市の一つとして正しいものを、次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。 19

- ① ブリュージュ
- ② ケルン
- ③ ブレーメン
- ④ リガ
- ⑤ ハンブルク

問10 Bの文中の（ウ）に入る地名として正しいものを次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。 20

- ① ブルゴーニュ
- ② ロンバルディア
- ③ フランドル
- ④ ブルターニュ
- ⑤ シャンパーニュ

Ⅲ アメリカの歴史に関する次の問1～10に答えよ。

問1 メソアメリカ文明圏に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。 21

- ① 前1200年頃、メキシコ湾岸地方では、絵文字をもち、聖獣ジャガーを信仰するテオティワカン文明が形成された。
- ② メキシコ高原では、1世紀頃からオルメカ文明が発展し、「太陽のピラミッド」や「月のピラミッド」をはじめとする大小の神殿がたてられた。
- ③ マヤ人は、紀元前からユカタン半島を中心に、階段ピラミッドなどをそなえた石造建築の都市を数多く建設し、またマヤ文字とよばれる絵文字（象形文字）を用いた。
- ④ 紀元前にアステカ王国をたてたアステカ人は、3世紀から9世紀にかけて最盛期をむかえ、ゼロの概念を用いた二十進法による数学を発展させた。

問2 アンデス文明圏に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。 22

- ① アンデス高地の南部では15世紀半ばにチャビン文化が成立した。
- ② チャビン文化は、金・銀・青銅器に加えて、鉄器の使用や車輪・馬の利用によって特徴づけられる。
- ③ 15世紀中頃から、アンデス高地南部のマチュ=ピチュを都に、インカ帝国が発展した。
- ④ インカ帝国は、文字はもたなかったが、数量を表すためにキープ（結縄）によって記録を残した。

問3 ヨーロッパ人のアメリカへの進出に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。 23

- ① スペイン出身のコロンブス（コロン）は、フィレンツェの天文学者プトレマイオスの地球球体説を信じて、インドへの近道として西回り航路の開拓をくわだてた。
- ② ピサロはメキシコのアステカ王国を滅ぼしてヌエバ=エスパーニャを建設し、コルテスはペルーのインカ帝国を征服した。
- ③ スペイン出身のマゼランがパナマ地峡を通過して太平洋に達して、インドとされていた地が大陸であることが明らかとなった。
- ④ コロンブス（コロン）をはじめヨーロッパ人が到達した地は、数回の探検によりアジアとは別の大陸だと主張したアメリゴ=ヴェスプッチにちなみ、アメリカとよばれるようになった。

問4 アメリカにおける植民地争奪に関する次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

24

- ① スペインは、征服領土において、植民者に先住民の支配を委託するアシエンダ制をしき、先住民を大農園や鉱山で酷使した。
- ② ポルトガルとスペインが両国の勢力範囲を定めたトルデシヤス条約により、ポルトガル人カブラルが漂着した南アメリカの現在のブラジルはポルトガル領とされた。
- ③ イギリスは17世紀初頭に北アメリカ南東部にヴァージニア植民地を開き、その北方ではピューリタンの一団がニューイングランド植民地の基礎をつくった。
- ④ 16世紀前半から現在のカナダへの進出を始めたフランスは、セントローレンス河口にケベック植民地をつくった後、五大湖方面に植民し、さらに南下していった。

問5 北アメリカ東海岸にあったイギリス領13植民地が1776年に独立を宣言したとき、その13州のなかに含まれなかった州名として正しいものを、次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

25

- ① ルイジアナ
- ② マサチューセッツ
- ③ ジョージア
- ④ ニューハンプシャー
- ⑤ ペンシルヴェニア

問6 1804年に世界初の黒人共和国として独立したハイチの独立時の宗主国名として正しいものを、次の①～⑥のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

26

- ① フランス
- ② イギリス
- ③ オランダ
- ④ スペイン
- ⑤ ポルトガル
- ⑥ アメリカ合衆国

問7 独立した中南米の国とその独立を主に指導した人物の組み合わせとして誤っているものを、次の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

27

- ① ブラジル——トゥサン=ルヴェルチュール
- ② コロンビア——シモン=ボリバル
- ③ アルゼンチン——サン=マルティン
- ④ メキシコ——イダルゴ

問8 南北戦争前後のアメリカ合衆国に関連する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

28

- ① 民主党のリンカン大統領は、奴隷州になるか否かを住民に決めさせるホームステッド法を制定した。
- ② 南部諸州は保護関税政策と連邦政府の権限の強化を望んだ。
- ③ 北部諸州は自由貿易と州権の強化を望んだ。
- ④ 奴隷制拡大に反対する勢力は共和党を結成した。

問9 19世紀末から20世紀初めにかけてのアメリカ合衆国に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

29

- ① 共和党のウィルソン大統領のとき、キューバの独立支援を理由にアメリカ=スペイン戦争（米西戦争）をおこし、勝利した。
- ② イギリスやドイツをしのぐ世界一の工業国になった。
- ③ セオドア=ローズヴェルト大統領が、アメリカ民主主義の優位を説く「宣教師外交」を推進した。
- ④ フーヴァー大統領が、パナマ運河の建設など積極的なカリブ海政策を推進した。

問10 キューバ危機より前におこったアメリカ合衆国関連の事柄として正しいものを、次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

30

- ① ベトナム（パリ）和平協定の成立
- ② ドル=ショック
- ③ 部分的核実験禁止条約の調印
- ④ 北大西洋条約機構（NATO）の結成
- ⑤ ウォーターゲート事件

IV インドの歴史を中心とする次のA～Dの文章を読み、それに続く問1～12に答えよ。

A インドで最も古い文明は、前2600年頃におこった青銅器時代の都市文明であるインダス文明⁽¹⁾である。前1500年頃には、インド=ヨーロッパ語系の牧畜民であるアーリヤ人が中央アジアからカイバル峠を越え、(ア)に進入し始めた。前1000年をすぎると、アーリヤ人は(イ)へ移動を開始し、移動した土地で農耕に従事する先住民と交わって農耕技術を学び、定住農耕社会を形成した。その過程で、ヴァルナ制とよばれる身分的上下観念が生まれた。⁽²⁾

B 前6世紀になると城壁で囲まれた都市国家がいくつも生まれた。それらのなかからコーサラ国、続いてマガダ国が有力となった。このような都市国家で勢力を伸ばしてきた社会層の支持を背景にして新しい宗教や思想が生まれ、影響力をもつようになっていった。⁽³⁾前4世紀の終わりにはインド最初の統一王朝である(ウ)朝が登場した。前2世紀には、(ウ)朝の衰退に乗じてギリシア人勢力が西北インドに進出した。続いてイラン系遊牧民が西北インドに進出し、後1世紀になると今度は別のイラン系遊牧民がインダス川流域に入って(エ)朝をたてた。(エ)朝は2世紀半ばの(オ)王の時代、最盛期をむかえた。

C 10世紀になると、中央アジアのイスラーム勢力がインドへの軍事進出を開始した。現在のアフガニスタンを拠点とするトルコ系の(カ)朝と、(カ)朝から独立したイラン系とされる(キ)朝が、富の略奪をめざしてインドへの侵攻をくりかえしたのである。最初のイスラーム政権は、(キ)朝のインド遠征に同行し支配地を任された将軍アイバクによってつくられた。彼が奴隷出身であったことから、この王朝を奴隷王朝とよぶ。また奴隷王朝を含め、その後デリーを本拠にしたイスラーム諸王朝は、まとめてデリー=スルタン朝⁽⁴⁾といわれる。16世紀に入ると、中央アジア出身のティムールの子孫バーブルがカーブルを本拠にして北インドに進出し、デリー=スルタン朝最後のロディー朝の軍をやぶってムガル帝国⁽⁵⁾の基礎をきづいた。

D インド帝国の成立⁽⁶⁾後、イギリスは港と内陸を結ぶ鉄道の建設を本格的に進めたが、これはイギリスの利害に合わせて進められたためインドの人びとに重い負担をもたらし、彼らの不満は高まった。第一次世界大戦中、イギリスは民族自決という国際世論の圧力に押され、インドに自治を約束したが、インド側からするとそれは自治とはほど遠い内容のものであった。こうして両大戦間期においては、植民地政府の圧政に対する激しい民族運動がおこった。⁽⁷⁾最終的に⁽⁸⁾インドが独立するのは第二次世界大戦後の1947年のことであった。

問1 Aの下線部(1)に関する次の①～⑤のうち、この文明を特徴づけるものとして正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

31

- ① スレイマン＝モスク
- ② アンコールワット
- ③ 『マハーバーラタ』
- ④ ハラッパー
- ⑤ 『マヌ法典』

問2 Aの文中の(ア)、(イ)に入る地名の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑥のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

32

- ① ア：デカン高原 イ：ガンジス川上流域
- ② ア：デカン高原 イ：パンジャーブ地方
- ③ ア：パンジャーブ地方 イ：ガンジス川上流域
- ④ ア：パンジャーブ地方 イ：デカン高原
- ⑤ ア：ガンジス川上流域 イ：デカン高原
- ⑥ ア：ガンジス川上流域 イ：パンジャーブ地方

問3 Aの下線部(2)に関する次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

33

- ① アーリヤ人と先住民の間に肌の色の差があったために、「色」を意味するヴァルナという語が使われた。
- ② ヴァルナ制では、バラモン(司祭)、ヴァイシャ(武士)、クシャトリヤ(農民・牧畜民・商人)、シュードラ(隷属民)という4つの身分に分けられた。
- ③ バラモン教は、祭式の詠歌・詩や呪法を集めたヴェーダ(聖典)をもとに、バラモン(司祭)によって司られた。
- ④ カースト制度は、ヴァルナ制とさまざまなカースト(ジャーティ)の主張とが組み合わされて、現在にいたるまで長い時間をかけて形成されてきたものである。

問4 Bの下線部(3)に関連する下のa, bの記述の正誤の組み合わせとして正しいものを次の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

34

a 仏教の開祖ガウタマ=シッダールタ（尊称ブッダ）は、ヴァルナ制を批判し、輪廻転生という迷いの道から人はいかに脱却するかという解脱の道を説いた。

b ジャイナ教の開祖ヴァルダマーナ（マハーヴィーラ）は、禁欲的な苦行の実践や徹底的な不殺生など、五戒の遵守によって解脱できると説いた。

- ① aのみ正しい
- ② bのみ正しい
- ③ aもbも正しい
- ④ aもbも誤っている

問5 Bの文中の（ウ）、（エ）に入る次の王朝名の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑥のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

35

- ① ウ：グプタ エ：クシャーナ
- ② ウ：グプタ エ：マウリヤ
- ③ ウ：クシャーナ エ：マウリヤ
- ④ ウ：クシャーナ エ：グプタ
- ⑤ ウ：マウリヤ エ：グプタ
- ⑥ ウ：マウリヤ エ：クシャーナ

問6 Bの文中の（オ）に入る王名として正しいものを、次の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

36

- ① ハルシャ
- ② チャンドラグプタ
- ③ アショーカ
- ④ カニシカ

問7 Cの文中の(カ), (キ)に入る王朝名の組み合わせとして正しいものを, 次の

①～⑥のなかからひとつ選び, その番号をマークせよ。

37

- ① カ:ガズナ キ:ゴール
- ② カ:ガズナ キ:チョーラ
- ③ カ:ゴール キ:ガズナ
- ④ カ:ゴール キ:チョーラ
- ⑤ カ:チョーラ キ:ガズナ
- ⑥ カ:チョーラ キ:ゴール

問8 Cの下線部(4)の時代にアジアを舞台におきたことに関する次の①～④の記述のうち, 誤っているものをひとつ選び, その番号をマークせよ。

38

- ① 永楽帝は鄭和に命じて, 艦隊を率いてインド洋からアフリカ沿岸まで遠征させた。
- ② モンテ=コルヴィノは, ローマ教皇の使節として大都にいたり, 中国最初の^カ大司教となった。
- ③ スマトラ島のパレンバンを中心に, シュリーヴィジャヤ王国が成立した。
- ④ ヴァスコ=ダ=ガマは, インド西海岸のカリカットに到達した。

問9 Cの下線部(5)に関する次の①～④の記述のうち, 正しいものをひとつ選び, その番号をマークせよ。

39

- ① この帝国の実質的な建設者は第3代皇帝アウラングゼーブであり, マンサブダール制によって支配階層の組織化をはかった。
- ② 第6代皇帝アクバルのとき, 帝国の領土は最大となったが, ヒンドゥー教寺院の破壊を命じ, 人頭税(ジズヤ)を復活するなどして民衆の反発を招き, その治世末期には弱体化が進んだ。
- ③ シャー=ジャハーンが, インド様式とイスラーム様式を融合させたタージ=マハルを建設した。
- ④ 公用語のヒンディー語がインドの地方語とまざったウルドゥー語が誕生した。

問10 Dの下線部(6)に関して, 成立時のこの帝国の皇帝名として正しいものを, 次の①～④のなかからひとつ選び, その番号をマークせよ。

40

- ① クライヴ
- ② ティラク
- ③ ヴィクトリア女王
- ④ エドワード6世

問11 Dの下線部(7)に関連して、両大戦間期にインドでおこったことについての次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

41

- ① 1935年インド統治法で、中央の財政・防衛・外交がインド人に移譲された。
- ② 1919年にイギリスはローラット法を制定し、令状なしで逮捕・投獄する権限をインド総督に与えて民族運動にそなえた。
- ③ 国民会議派内の急進派は、1929年のラホール大会においてプールナ=スワラージ（完全な独立）を決議した。
- ④ 1920年の国民会議派大会でガンディーは、イギリスに対する非協力運動を提示して民族運動をエリートだけでなく民衆も加わる運動へと脱皮させた。

問12 Dの下線部(8)に関して、インド独立法にもとづいてイギリス連邦の内の自治領、インド連邦として独立したときに初代首相となった人物として正しいものを、次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

42

- ① ガンディー
- ② ネルー
- ③ ジンナー
- ④ スハルト
- ⑤ スカルノ

V 19～20世紀の東アジアに関する次の問1～8に答えよ。

問1 太平天国の乱をおこした宗教結社、上帝会（拝上帝会）を率いた人物名として正しいものを、次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。 43

- ① 康有為
- ② 林則徐
- ③ 李鴻章
- ④ 梁啓超
- ⑤ 洪秀全

問2 19世紀に清とロシアが国境線をめぐって結んだ条約ではないものを、次の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。 44

- ① アイグン（愛璦）条約
- ② イリ条約
- ③ 北京条約
- ④ トルコマンチャーイ条約

問3 19世紀の朝鮮半島をめぐる動きについての次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。 45

- ① 全琫準を指導者とする甲午農民戦争（東学の乱）がおこると、日清両国軍が出兵し、日清戦争となった。
- ② 日清戦争に勝利した日本は清と天津条約を結び、このときの賠償金によって、軍備拡張を目的とした重化学工業がさかんになった。
- ③ 閔氏（閔妃）殺害事件がおこると朝鮮では反日感情が高まり、朝鮮王朝第26代国王であった大院君は、清の影響下で、皇帝を称して大韓帝国（韓国）を成立させた。
- ④ 朝鮮総督府の初代総督であった伊藤博文が安重根によってハルビン駅で射殺される事件がおきた翌年、日本は「韓国併合に関する条約」を結んで韓国を植民地化した。

問4 日露戦争に関連する次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

46

- ① 韓国での権益をめぐる日本はロシアと激しく対立しており、当時ロシアと対立していたイギリスと日英同盟を結び、中国と韓国における利権を認め合った。
- ② 門戸開放を唱えてロシアの満州占領に反対していたアメリカ合衆国は日英同盟を支持した。
- ③ ロシアでは第1次ロシア革命がおきて社会不安が高まっていた一方、日本は日本海海戦でロシアに勝利したものの国力を消耗させたので、両者の間に講和の気運が生じた。
- ④ ポーツマス条約によって、日本はロシアから賠償金を獲得し、さらに韓国の指導・監督権、遼東半島南部の租借権、南満州の鉄道利権、樺太（サハリン）南半の領有権なども得た。

問5 日中戦争期（1937-1945年）におこった事柄として正しいものを、次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

47

- ① 五・一五事件
- ② 満州事変
- ③ ノモンハン事件
- ④ 第一次国共合作
- ⑤ 五・四運動

問6 朝鮮戦争に関連した次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

48

- ① 1948年、朝鮮半島の南部に金大中を大統領とする大韓民国が成立した。
- ② 1948年、朝鮮半島の北部に金正日を首相とする朝鮮民主主義人民共和国が成立した。
- ③ 1953年に休戦したが、朝鮮半島は北緯38度線をはさんだ南北の分断が固定化されていった。
- ④ アメリカ軍を中心とする国連軍は大韓民国を軍事支援し、ソ連と中華民国は朝鮮民主主義人民共和国を軍事支援した。

問7 1970年代の東アジアでおきたことについての次の①～④の記述のなかから正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

49

- ① アメリカ合衆国から日本への沖縄の返還が実現した。
- ② プラザ合意によって為替相場が円高ドル安へと誘導され、日本の海外投資が増加した。
- ③ 台湾では李登輝が本省人としてはじめて総統に就任した。
- ④ チベットでおこった大規模蜂起が武力で鎮圧された結果、ダライ=ラマ14世はインドに亡命してチベット臨時政府を組織した。

問8 文化大革命の後の中国でおきたことについての次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

50

- ① 江青の指導下に、改革・開放政策が開始され、人民公社の解体、生産請負制の導入、国営企業の独立採算化などが進められた。
- ② 多数の学生や市民が北京の天安門広場で民主化を求める運動をおこしたが、毛沢東は運動に同情的であった趙紫陽総書記を解任して、武力でこれを弾圧した。
- ③ 劉少奇の後継者となった江沢民は、かつて毛沢東が唱えた農業・工業・国防・科学技術の「四つの現代化」を再提起した。
- ④ イギリスから香港が、ポルトガルからマカオが中国に返還され、社会主義と資本主義が共存する一国二制度の体制ができあがった。